

## 令和5年度 滋賀県立守山北高等学校 学校評価アンケートまとめ

本校は、学校関係者評価を学校運営協議会委員にお願いしており、本校の教育活動を幅広く認識している委員から総合評価を行なっている。アンケート結果集計の計算方法は、A B C Dの基準による達成度をより丁寧に評価できるように改善しており、今年度も同手法で集計した。

自己評価に関して、中間評価より総合評価の達成度の数値が上昇し、評価をAとした項目として「2. 地域と協働した学びに取り組み、地域の未来を担う人材の育成に努めている。」「10. 地域との連携による様々な取り組みを通じたキャリア教育を推進している」「24. P T A活動等を通して、地域や保護者と密接な関係を構築するように努めている。」「25. ホームページの更新や一斉送信メールなどを通じて、情報の発信に努めている。」をあげたい。新型コロナウイルス感染症対策により制限されていた取り組みが、従来の形に近い状態で実施することができたところによる。また、他にも2項目で中間評価よりも達成度の数値が上昇している。

達成度の数値が低い項目として「12. 部活動を活発化することによって、学校生活の充実を図っている。」「13. 体育祭・文化祭や修学旅行等の取り組みを通して、生徒の自主性や自立心の伸長を図っている。」があがった。近年の本校の定員割れによるもの一因と考える。新学科が令和7年度から設置されることと合わせて検討していきたい。

生徒アンケートから、言葉遣い・身だしなみ・掃除・公共物を大切にしている生徒が多いことが読み取れる。近年、生徒が落ち着いて学校生活を送っていることを反映している。また、悩みを相談できる人が周囲にいるが8割を超える回答であるが、一部の生徒は悩みを一人で抱えていることとなり、より丁寧な対応が必要であることを教員間で共有した。また、長らく本校の課題である「授業時間以外での学習について0分の生徒」に関しては、I C T活用をより進めて、ゼロを目指し取り組んでいきたい。

保護者アンケートからは、学校のマナー指導や服装指導に保護者から高い評価を得ている。学校へ子供を安心して送り出すことができると答えた保護者が9割に上る。一昨年度から取り入れた「さくら連絡網」は、保護者と双方向の連絡やP D Fファイルの送信が可能となり、保護者からは、学校に文書で連絡が取れるようになり、今まで電話に限られた欠席や遅刻の連絡ができるようになった。これは教員にとっても負担の軽減になっている。「保護者アンケートの学校が積極的に情報発信を行っている。」の項目が昨年度に比べて大幅に増加し、9割を超える保護者が学校の情報発信を評価している改善が見られた。学年からの連絡だけでなく保健だより等の生徒を介して配布していたプリント類も「さくら連絡網」を用いることにより保護者への教育活動の積極的な発信に努めたことが評価された。

来年度は、より一層I C Tを利用した授業および1人1台端末を用いた授業についても学校全体をあげて実施するようにしていきたい。